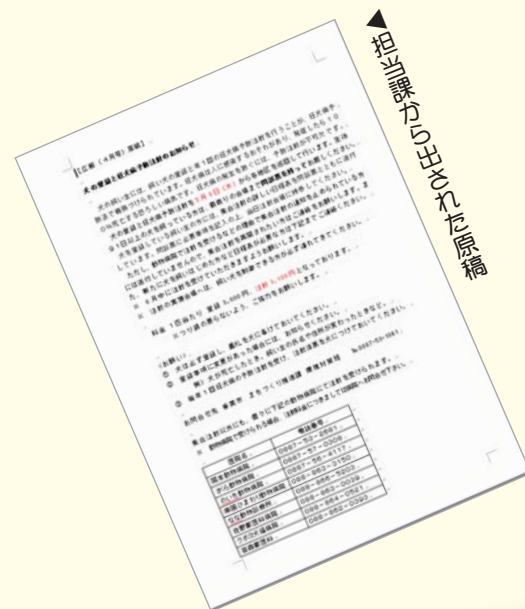




▲4日間かけて、印刷会社で製本される

④ 校正・入稿・印刷

広報委員会で編集された原稿を各課で確認後、広報担当が最終チェックを行います。納品日の5日前に印刷会社へデータを渡し、翌日校了。これ以降、記事の修正はできません。印刷会社で11,000部が製本されます。



① 情報収集・取材

広報誌は、毎月1日(休日の場合は翌日)に発送されます。発行前々月下旬に各課からお知らせ記事を集めます。特集記事は数カ月前から企画しているときもあれば、昨年12月号に掲載した「特集ありがとう やなせ先生」のように、緊急に企画する場合があります。掲載内容は、公益性のあるものに限りま

⑤ 発送作業

広報誌は、発送の2日前に納品されます。広報誌へ、県広報紙やチラシを作業員が2日間で差し込みます。発送日当日、配布棚に置いた各課からの自治会長への文書や、回覧文書とともに梱包し、約200の自治会へ発送。広報は、自治会のほか市内の公共施設やスーパーマーケットへも送付しており、1,500部近くの広報誌が持ち帰られています。



▲発送作業の様子。自治会ごとに文書が並び

② 編集

原稿が集まると、どのページにどの記事を入れるか決めて、全体のページ数が決まります。目を留めてもらえるようなレイアウトや読みやすい文章に変えるため、試行錯誤しながら編集します。場合によっては、大幅に原稿を修正することもあります。編集は2人(内1人兼務)で、編集の合間に取材も行っています。



③ 広報委員会

香美市には、民間委員による香美市広報委員会が設置されています。毎月2回に分けて、広報担当が作成した原稿をチェック。特集企画についても事前の説明を行い、市民目線の広報が作られます。かみかみクイズも広報委員会で当選者の抽選を行っています。



▲月2回行われている広報委員会

創刊100号記念特集1

広報香美の 作り方

創刊100号を記念して、広報香美について、特集します。皆さんに毎月読んでいただいている、広報誌ができるまでの過程をお見せします。



DTP Desk Top Publishing ~机上編集~ による編集

広報香美は広報担当がパソコンで印刷データを作成しています。写真加工、レイアウトを含む全てを専用ソフトで編集。ソフトは平成20年7月号No.29から導入されました。原稿を並べて作業するため、モニターは通常のサイズより大きい24インチ。通常、印刷会社やデザイン会社が行う部分を広報担当が行うので、仕事量は増えますが、経費を大幅に抑えられます。

